

科目区分・分類	専展・その他	対象学科名・学年	生産環境1年	科目コード	79901900
科目名	学外実習 Internship				
担当教員	宮崎 忠				
単位数(時間数)	必修 後期 12単位 (540時間)【学修単位】	学習・教育目標との対応	(D-2)(F-1)(G-1)(G-2)		
授業の目的と概要	次の目的を達成するために、学生の希望・適性にあった企業等を選択し、14週間(540時間以上)を目処に、実務実習を行う。企業等において、実践的・技術的感覚を養うこと。社会における技術の必要性を学び、専攻科における勉学の意義を認識し、自己啓発をすること。基礎学問が総合的に利用されて社会における技術として形成されていく過程を体験し、個々の専門技術に囚われない総合的な能力を高めること。				
先修科目					
後修科目					
備考	実習先が海外の場合、到着後現地の大学などで実習企業での心得や現地での注意事項に関する指導を受けてから実習を開始する。				
	授業項目	時間	内容		
1	準備	80	事前の打ち合わせで決めた実習テーマの理解を深める。また、実習テーマを行うために必要となる、特有の技術や安全などの教育を受けたり、自己学習をする。		
2	テーマの遂行	380	各企業で個別に設定したテーマに沿って実習を行う。この間、各月毎に月次報告書を指導者と共に書いて提出する。		
3	まとめ	80	遂行したテーマのまとめを行う。報告書は2種類あり、実習企業等向けのもの、「実践工学演習」の報告会用である。		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	取組む実習の内容を把握し、実施すべき事項を実習企業等と協議して計画し遂行できること。これらを企業等の学外実習責任者が作成する「学外実習評定書」、「学外実習月報」、「訪問面談」の評価により、(D-2)、(F-1)、(G-1)、(G-2)を評価する。				
成績評価					

教材	教科書：受入れ企業等により個別対応。 参考書：受入れ企業等により個別対応。
オフィスアワー	放課後16:00～17:00，特別研究担当教員室 この時間に囚われずに必要に応じて来室してください。